

下水道ってどんなもの？

▶問い合わせ
西下水道課
☎0287(37)8479



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

皆さんは、下水道と言ったらどのようなイメージを思い浮かべますか。

トイレやお風呂、台所の使い終わった水が流れていて汚いイメージ？それとも、いつもどこかで工事をしているイメージですか？もしかしら「下水道を使っているから分らない」という人もいます。

現在市内では、下水道が整備されている地域は約55%ですが、下水道を使用していない地域の皆さんにも関わることがたくさんあります。

このシリーズでは、下水道のしくみや制度、これからの下水道が皆さんの生活にどのように関わっていくのか、皆さんに知ってほしい下水道のことを6回に渡り紹介します。

下水道の役割としくみ

◆下水道の役割

～環境を守り、

快適な暮らしのために～

下水道は、工場やお店、皆さんの生活の中から出た汚水を集めて、きれいな水に戻すことが役目です。汚水は、地中に埋められた下水道を通して集められているので、皆さんが普段目にすることはありません。

もし、下水道のような汚水を処

下水道が無いと…



いろいろな感染症が発生すること…

下水道のある生活

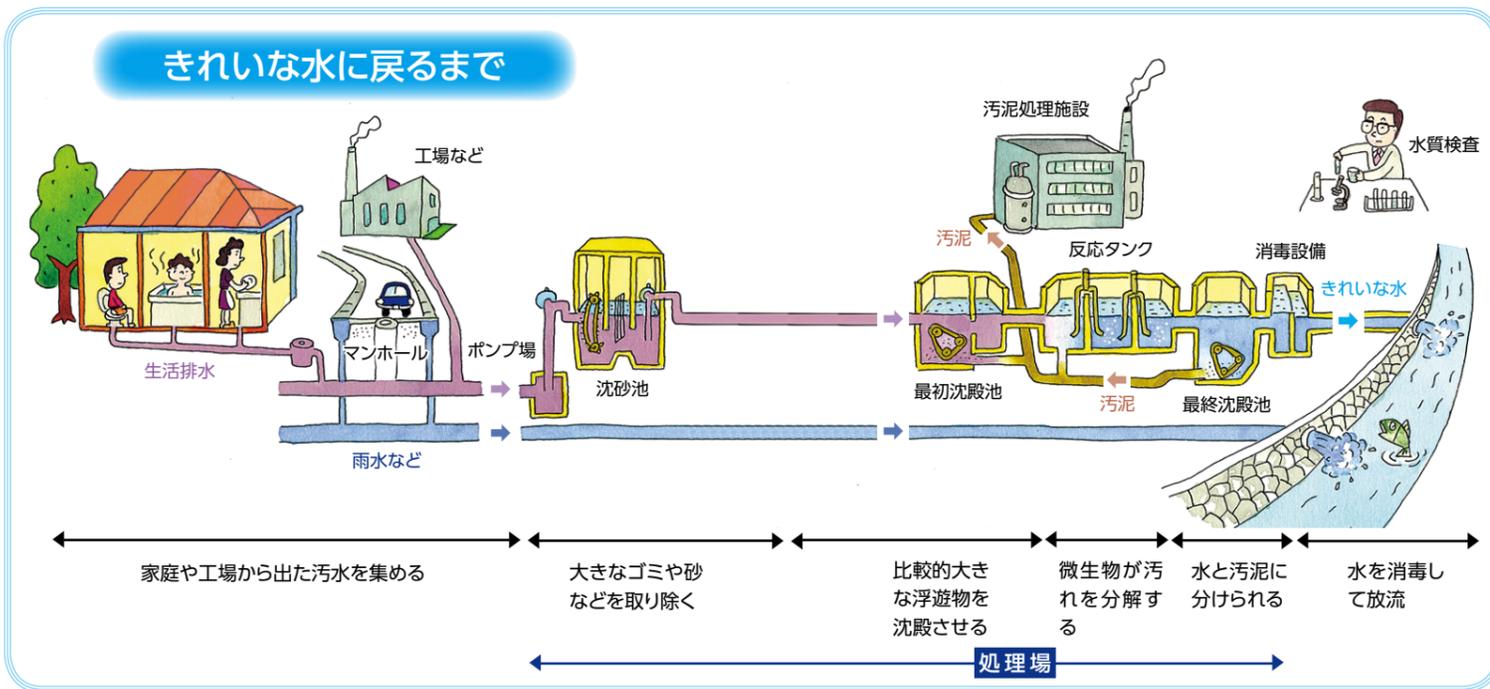
- 臭いや害虫を防ぎきれいなまちをつくれます
- 水洗トイレが普及し清潔で快適な環境をつくれます
- 本市の美しい自然環境を守ります

下水道は、快適で清潔な暮らしや、本市の美しい自然を守るために、大きな役割を果たしています。

◆どうやって汚れた水をきれいな水にするの？

汚水を下水道に流しただけでは水はきれいになりません。下水道は、汚水をきれいな水に戻す処理場へ運ぶための道路なのです。処理場へ着いた汚水は、ゴミを取り除いたあと、微生物により分

解されて、水と汚泥に分けられます。水は、最終的に消毒してから川に放流します。汚泥は、主に県の資源化工場へ運ばれ、資源として再利用されています。※現在は、原子力発電所事故の影響で、汚泥は一部のみ有効活用しています。



本市の下水道の状況

◆どこで汚れた水をきれいにしているの（処理区域）

現在、市内で出た排水は3カ所の施設で処理をしています。

黒磯市街地と板室・高林地区は、黒磯水処理センター。塩原温泉街

野地区、関谷・接骨木地区の排水を処理しているのが、県の施設の北那須浄化センターです。

◆市内の下水道の整備状況とこれから

市内で整備されている下水道は、面積約2300ヘクタール、総延長約500km。市内の下水道管を全て一直線につなぐと、本市から神戸市までの距離に相当し、約6万5千人が下水道を使用することができま

す。市の計画では、平成33年度までに7万4千人が下水道を使用できるように、新たに560ヘクタールの整備を進めていく予定です。



本市の下水道「普及率」

平成29年3月31日現在

普及率	行政区別		普及率(%)	
	人口(人)A	世帯(戸)B	人口(人)C	C/A
黒磯地区	61,643	14,462	34,135	55.4%
西那須野地区	48,767	11,585	26,714	54.8%
塩原地区	7,436	1,670	4,048	54.4%
合計	117,846	27,717	64,897	55.1%

※下水道が整備されている地域で、すでに使用している人の割合(水洗化率は、90.1%です。

下水道が力を発揮するには ～下水道への接続のお願い～

下水道は、整備しただけでは力を発揮できないんだ。みんなに使ってもらって、初めて力を発揮することができる施設なんだよ。

現在、下水道は通っているけどまだ接続していない人や、下水道がつながっていない地域でも、今後下水道を使えるようになった時は早めに接続してね。



詳しくは市ホームページを見てね



◆次回の「那須塩原市の下水道」は、下水道管やマンホールについてお知らせします。